

第33回

岐阜勤医協定期社員総会開催



岐阜勤労者医療協会は、5月24日(日)に第33回定期社員総会を開催し、2008年度の総括と2009年度の運動方針等について討議し、4点を確認しました。

- ① 09年度の重点方針
すこやか診療所での精神科開設を成功させる
- ② 無料低額診療事業を実施し受療権を守る取り組みを広げる
- ③ ISO9001の認証取得をすすめ医療・介護の質を高める
- ④ 勤医協創立40周年記念事業を

成功させ岐阜民医連の歴史と理念を次代に継承していく
討論では、職員と地域の信頼関係を強めるために職員が地域に出る取り組みをすすめる必要があるなどの意見が出されました。また役員の見直しも行われ、岩井理事長はじめ新しい理事の選出が行われました。最後に長い間理事として活躍された桜井前理事より退任のあいさつがあり、「学ぶことの大切さ」や「無料低額診療事業にこそ民医連や勤医協の存在意義がある」ことが強調されました。

岐阜勤労者医療協会専務理事
土井 正則

相 談 室 だ よ り

みどり病院医療福祉相談室 清藤 彩野

収入は特別児童扶養手当のみ

Aさんは三十歳代女性。「夫が家に帰ってこなくなり、お金が入らなくなった。現在の収入は『特別児童扶養手当』のみ。夫の借金で自己破産している。自分の母親は生活保護を受給しており、金銭的な援助は難しい。二人の子供のうち、一人は常時介護が必要で、仕事をするのも難しい。眠れないし、体もつらい」と不安を訴えました。夫のことは、女性問題や勝手に会社を辞めるなど苦労してきたようです。

夫が失踪したのでなければ無理

以前、一人で市役所に生活保護の相談に行ったら、「夫が失踪したのでなければ受給は難しい」と帰されてしまったとのこと。この生活面での不安が消えない限り、体も良くはなりません。「解決に向けて、一緒に考えていきましょう」と話し、生活保護の申請に同行することを約束しました。

関係機関との連携で生活保護受給

学校の先生も相談を受けており、関係者の話し合いがもたれました。Aさん、市役所の生活保護担当者、スクールカウンセラー、児童福祉司、学校教諭が意見を出し合いました。Aさんも「離婚して、子供と安定した生活を送る」という希望が見えてきました。

その後、離婚して児童扶養手当を申請。生活保護の申請には同行しました。現在は生活保護を受けながら、生活の立て直しをはかっています。子供と来院する姿が以前より明るくなったようです。

先日、Aさんから手紙をもらいました。「生活の安定がみえ、心も安定したように思います。前に進んでいけそうです。ありがとうございました。」

Aさん家族にかかわる多くの方と援助をすすめていく中で、あらためて関係機関との連携の大切さを感じました。

勤医協40周年 勤医協History No.3

岐阜勤労者医療協会設立とみどり病院開設

早期の医療法人取得が求められる中、1979年に設立総会と健友会10周年祝賀会を開催しました。10周年記念事業として第1回学術集談会も行われました。

1980年代初期、累積赤字を抱えながらも、みどり診療所の病院化が進められました。当時、経営再建のため愛知民医連はじめ全日本民医連からの援助を受け、ニュース発行など民主的な経営管理に尽力した結果、混乱期を乗り越えることができました。

1985年には、勤医協・華陽診15周年を迎え、翌年には華陽診の改築工事が行われました。また、第1回健康まつりも同年、岡本球場にて開催されたほか、全職員参加の社保学校、反核署名運動などが盛り上がりました。さらに、職員増加で産休明け保育所開設が求められ、病院・労組・父母が協力し、カンパ・物資販売・バザー、保育運動を続け、わらべ保育所を開所しました。



みどり病院前を出発



岩井雄司医師



加藤澄夫医師

そんな中、14日(日)の関市から岐阜市美江寺公園までのコースでは、医師も行進に参加しました。途中のみどり病院では歓迎式が行われ岩井理事長が「核兵器廃絶への願いと昔は子どもや犬といっしょに歩いたが、これからは孫といっしょに歩くことを楽しみにしている。」と歓迎・激励の挨拶をしました。

核兵器廃絶と世界平和を願って東京から広島まで歩く国民平和大行進が6月11日(木)〜16日(火)まで岐阜県にやってきました。
世界では、オバマ氏が「核兵器を使つたことのある唯一の核保有国として米国には行動する責任がある。アメリカは核兵器のない平和で安全な世界を追求する。」と演説し、2010年のNPT再検討会議に期待が寄せられています。

国民平和大行進
関市〜岐阜市コース



第12回 こがねだ 健康まつり

5月16日(土)の午後、雨にもかかわらず200名以上の来場者を迎えての開催でした。屋外でのステージ見物は肌寒かったのですが、威勢の良い高賀山太鼓、フラダンスの華やかな衣装、元気なキッズダンス：など見どころは満載でした。賑やかな子どもコーナーのちびっこも、毎年新しいネタで笑わせてくれる可知さんのステージは見逃しません。抽選会も子ども向けの景品があり、盛り上がっていました。

恒例の餅まきは取り止め、みんなに配って祭りは終わりました。「初めて餅を持ち帰り、おいしくいただきました」という声に、うーん餅まきは続けるべきかとスタッフは悩んでいます。

関事務局長 佐野典子



開会の高賀山太鼓



キッズダンス



フラダンス

春の支部行楽

藍川支部

石山寺・信楽へ22名



石山寺山門前で

5月16日(土)五月晴れのもと、藍川支部バス行楽へ出かけました。新緑の石山寺を歩き、信楽で昼食をとってから、みなさんそれぞれの「たぬき」をお土産に買い、水口に立ち寄り帰路につきました。

歩きの多いコースで、次回はこのんびりと温泉へ行きたいとの声がありました。

華陽支部

板取・湯元すぎ嶋へ



すぎ嶋での昼食

今年からは、華陽、下川手、八剣支部合同の支部行事になり、6月5日(金)に23名で板取

を訪れました。雨にぬれる山々の緑はしっとりとした風情でした。「湯元すぎ嶋」は、板取川最上流の一軒宿として有名です。どっしりとした古民家造りの建物で、庭を臨む囲炉裏のある部屋に案内され、「山の幸会席」をいただきました。その後は総高野槌造りの内湯に浸かり、みんな癒された笑顔でぴかぴかの顔になりました。

芥見南支部

36名で春の南知多へ



豊浜魚ひろばにて

4月22日(水)『ミツカン酢の博物館 酢の里』と『豊浜魚ひろば』、お食事は『まるは食堂』でいただきました。

(参加費4,800円)

酢の里では、酢を毎日続けて飲むことで(大さじ1杯)、コレステロールを下げ、血圧を正常に近づける、血糖値の上昇を抑えるなど様々な力があることがわかり、みなさんとても真剣にお話を聞いていました。昼食は海の見える座敷で、じゃんぼ海老フライ2尾、お刺身、煮魚をいただきますみなさん大満足でした。豊浜魚ひろばでは、新鮮な魚介類がお値打ちで、干物やノリ、イクラなどたくさん買っていました。

関支部

関善光寺と郡上温泉

6月3日(水)、恒例の「ゆつたり大衆演劇見物」行楽に会員24名、職員3名が参加しました。行きに関善光寺を参拝、ご住職より境内の案内をしていただきました。

参加者の平均年齢が80歳という、とっても元気な関支部です。



関善光寺にて

知恵袋支部

第2回支部総会報告



5月7日(木)27名の参加で、第2回知恵袋支部総会を開催しました。今回は全体総会に合わせるために、半年分の総会となりました。支部長の挨拶・会担当事務局挨拶・08年度活動報告と会計報告・09年度活動計画と予算案が出され、全員一致で決定しました。総会終了後、お楽しみ会として吉浜看護師によるアロマクリーム作りを開催。とても楽しくにぎやかに行われ、完成したアロマクリームを手や足に塗り、癒された空気の中終了しました。

華陽配食ボランティア

●13回520食●



毎回、診療所にポスターを貼り出し、注文を受け付け。配達要員は私一人です。最近では次の利用者さんを気にしながらも、弁当の受け渡しだけでは済まず、玄関先で慌ただしく言葉を交わしています。たかが弁当ではなくてきたなと思う近頃です。

紅葉が丘支部

健康班会



5月班会

紅葉が丘支部は20年間ずっと、月に1度のペースで「健康班会」を続けています。「健康班会」は、友の会の基礎となる活動です。紅葉が丘公民館に集まり健康の話を聞いたり、健康チェック(自分の体を知る)を行っています。班会には毎回、アドバイザーとして病院や薬局の職員、地域のボランティアの方に、テーマに応じて参加してもらっています。

2009年の班会を紹介します

- ◆1月 新年会(新そばを味わう会) 「そばの成分の話」 (管理栄養士)
- ◆2月 「脳を活性化させましょう」 (事務局)
- ◆3月 「新型インフルエンザの話」 (みどり病院 事務局長)
- ◆4月 「骨密度測定と骨のはなし」(放射線技師)
- ◆5月 「骨粗しょう症予防の食事の取り方」 (管理栄養士)
- ◆6月 「塩分の話」 (管理栄養士)

健康班会のいいところは、専門スタッフの話が聞けたり、質問ができたところですね。その後のお茶を飲みながらの歓談も楽しみのひとつです。

紅葉が丘支部 担当事務局 加藤久美子

第6回マージャン大会 16名参加

5月31日(日)ささゆりホールで、恒例のマージャン大会が開催されました。今回の参加は男性8名・女性8名の16名でした。対戦相手は、1回戦はクジで、2回戦以降は累計点数の高い人から順に4人で対戦しました。1回1時間15分を4回戦行い、和気あいあいのうちに熱戦が展開されました。結果、上位3人を女性が独占しました。表彰式では、入賞賞品・参加賞・飛び賞・ブービー賞を奥住副会長から渡していただきました。



- 優勝 平山みさ子さん
- 優優勝 水野 綾子さん
- 3位 小林八重子さん

今年度もスタート

- 特定健診を受けましょう!
- その他健診も是非!

大腸がん検診

がん死亡率の上位となるほど増えています。便を採取するだけの便潜血反応検査です。

会員無料

前立腺がん検診

血液検査での腫瘍マーカー検査です。40歳以上の男性は是非定期的に。

1,500円

半日人間ドック

この際全身検査を希望する方は、胃の検査をはじめとするドックをしましょう。

25,000円 友の会会員価格

● 友の会無料大腸がん検診開催中(2回法)

昨年の「無料大腸がん検診(1回法)」は約550名の方にご利用いただきました。

幸いにも大腸がんと診断された方はありませんでしたが、大腸ポリープが見つかり精密検査をされた方が数名ありました。

「やっといてよかった」との声が多く寄せられ、今年度も開催を決定。さらに、2回法での検診です。

大腸がんは今、がんでの死亡率の上位となっています。この機会に検査することをおすすめします。

実施期間 2009年6月1日～2010年3月31日まで

検査内容 便潜血反応検査2回法

対象 岐阜健康友の会会員
(同居家族も含みます)
限定2000名(定員になり次第終了)

受付 みどり病院・すこやか診療所
華陽診療所・こがねだ診療所



華陽診療所での養成講座

友の会では、今年度の活動目標のひとつとして、認知症サポーター養成講座を開催し、400名のサポーター登録を目指しています。認知症の方と接するときの心構えや、介護している家族の気持ちを理解しサポートしていく、優しい地域を作っていくきましょう。

養成講座を開催していきます

国が推奨する100万人のサポーター作りの取り組みが全国で展開中です。各自自治体や職域ごとに、養成講座を通じて認知症を理解し、認知症の方や家族を支えていける人材の育成が広がっています。

100万人キャラバン 認知症

いまや65歳以上の15人に1人が認知症と言われます。ところが、誤解や偏見から本人が辛い目にあったり、家族が苦労されている状況も多くあります。

深刻な認知症の広がり

400名を目指して 認知症サポーター

みどりの花壇アラカルト(4) アジサイ(紫陽花)



ユキノシタ科・落葉低木
原産地：日本 花期：6～7月

由来と特徴

「紫陽花」は夏の季語。花びらに見えるのは実は萼(がく)。花形から「手毬花」又は、変化する花色から「七変化」の異名がある。江戸時代ヨーロッパに渡り、西洋アジサイとして逆輸入された。特性は肥沃で湿潤な土壌と半日陰を好むが、あまり暗いと花つきが悪く、夏期は半日陰・秋～春期は日当たり良く管理する。花形はガク型が基本種で両性花が中心部。外側に装飾花がある。
※両性花…大きな花びらがなく雄しべ・雌しべからなる
装飾花…花びらに見えるがガク

花言葉 移り気

花色が変化するところから、心変わりに例えて…

育て方 「花色の決め手は、土壌の酸性度にある。」

アジサイの多くは酸性土壌では青、アルカリ性土壌ではアルミニウムが溶けず吸収されないの赤味を帯びる。発色のメカニズムは複雑で品種に左右される。白花はもともと色素を持っていないので、色の変化は弱い。

～使用土や肥料で、貴方も花色をコントロールしてみたら?～

愛友会 園芸ボランティア 花はなプロジェクト

芥見つどいの家 健康座談会

6月12日(金)14:00から「芥見つどいの家」にて健康座談会を開催しました。

参加者は、友の会会員3名と非会員の方1名の計4名の参加となりました。

骨密度・血糖値・体重・体脂肪・血圧を測定し、レントゲン技師から骨についてクイズを交えながらの説明があり、皆さん普段の生活で何が足りないかを考えながら楽しく勉強していました。

その後、6月から岐阜勤医協で始まった無料・低額診療についての説明を聞いていただき、次回の健康座談会のお知らせをし終了しました。

芥見健康座談会は毎月第2木曜日の14:00から行います。



7月 9日(木)	大腸がんの話と会員無料検診の受付
8月20日(木)	「笑い与健康」 (第2木曜日がお盆のため8月は第3木曜日に設定)
9月10日(木)	セラバンド体操

9月までは以上の内容で計画しています。

福祉運送「助け足」北山事業所 ドライバー紹介

お二人とも「助け足の会」から活動している、7年目のべてらんドライバーさんです。



山口 泰雄さん 田中 義也さん

助け足に入ったきっかけは何ですか?

山口:『健康とくらし』に入っていたドライバー募集のチラシを見てだね。
田中:みどり病院に通院していた時、ドライバー募集のチラシを見て訪ねたのがきっかけ。

やりがい・辛いことはありませんか?

山口:辛いことは何もないけど、利用者さんから「ありがとう」と言われる事がやりがいかな。
田中:辛いことは今まで一度も無いよ。送迎している時、娘に見られた事があり「お父さんは素晴らしい事をしているんだね」と尊敬された時にやりがいを感じたね。 **NPO法人 生活サポート・助け足ネット**

奨学生募集

★医学生・看護学生を
紹介して下さい

お問い合わせ先

医学生 藤井

090-4792-2187

看護学生 早川

090-7027-9750

常勤 看護師募集

★夜勤3交代勤務の出来る方
★年齢45歳位までの方

お問い合わせ・お申し込み先

みどり病院 看護部長/
小西 久美子

(058) **241-0681**

メールアドレス
midori-hp@gifu-min.gr.jp





無料・低額診療事業をスタート 医療費に困った方は、無料・低額診療の活用を

6月1日より

**生活困窮者の
 医療費免除制度を
 開始しました**

みどり病院、すこやか診療所、華陽診療所、こがねだ診療所は「無料・低額診療事業」を6月1日より開始しました。無料・低額診療は、病院・診療所が生計困難者の医療費窓口負担の全部、または一部を免除・減額する制度です。法的には「社会福祉法第2条第3項」に定められていますが、最近ではホームレスやドメスティックバイオレンス被害者も、この対象としてみなしていくなど、社会的役割が広がっています。



**お金がなくても、
 まずは手遅れになる前に**

私たちは、「お金の心配をしながらでも安心してかかれる医療機関が欲しい」という声にこたえて、地域住民と医療従事者が一緒になってつくってまいりました。私たちが大切にしてきたことは、「お金のあるなしで医療が差別されてはいけない」ということです。みどり病院では、差額ベッド料を徴収せず、困難を抱えた人たちの「最後のより所」として医療や介護に関する相談活動をすすめてきました。昨年12月みどり病院で亡くなった66歳女性は、1ヶ月以上も前から自覚症状がありました。収入が少なく病院に行くのを我慢し、受診した時にはすでに手遅れでした。また、経済的な理由が必要な治療を中断し、病気が悪化して入院する患者さんが相次いでいます。

**医療費に困った方は、
 一度ご相談下さい**

このような悲惨な事態を二度と生みださないために、生活困難者のより所として、この無料・低額診療事業を開始しました。

- ・保険証がない方
- ・国民健康保険の短期保険証や資格証明書が発行されている方
- ・病気や障害などで収入がない方
- ・リストラや失業で、一時的に収入がなくなっている方
- ・医療費の支払いをすると生活に困難を生じる方

このような方は一度ご相談下さい。

第10回全国共同組織活動交流会

参加者1560人が集う

梅雨空のもと、6月21日(日)・22(月)長崎に全国の友の会・組合員の支部、ボランティアの仲間が集いました。

初日の全体会場となった長崎ブリックホールは各県ごとに全席を埋めつくす盛況ぶり。

長崎市長の田上富久さんらの来賓挨拶のあと、記念講演「いのち」。講師の肥田舜太郎医師(92)全日本民医連顧問のお話は、広島で被爆しながらも被爆者救援に身を挺し、後に全日本民医連の創立に参加した経緯を淀みなくお話しされ、参加者の大きな共感と感動を呼び起こしました。



肥田舜太郎先生の講演

お問い合わせ

みどり病院
 岐阜市北山1-14-24
 ☎(058)241-0681

すこやか診療所
 岐阜市北山1-13-11
 ☎(058)243-0791

華陽診療所
 岐阜市祈年町1-24-3
 ☎(058)272-5322

こがねだ診療所
 関市上白金5-1-1
 ☎(0575)28-6366

10分科会23会場



熱気溢れる分科会

4つのホテルでの夕食交流会では、各県のお国自慢を披露しあい高揚した気分のまま、2日目の分科会に臨みました。

1会場60〜100名の分科会は、15〜18の活動報告と各地からの経験交流で熱気につつまれていました。

お昼に終了して、帰路につきました。

2011年の第11回交流会は、東北は岩手県盛岡に決まりました。

第27回岐阜健康友の会 定期総会

13地域支部で231回の健康班会を開催

6月28日(日)ささゆりホールに、地域支部、ボランティア、職員合わせて61名の参加で、定期総会と活動交流会を開催しました。

08年度の1年間に、346世帯の会員が増えました。地域支部は2支部(岐南八剣支部・厚見下川手支部)が誕生。助け合いボランティア「こころ」が活動を始めました。

健康班会は231回開催され、57班で班会が開催されています。

09年度活動の柱

- ①会員拡大500世帯
- ②第4回ヘルスアップチャレンジ
- ③認知症サポーター400名
- ④まちづくり懇談会の開催
- ⑤会員無料大腸癌検診2000件

活動交流分散会

午後、岐阜勤医協の土井専務理事から、基調報告「事業所と友の会で共同した取り組みを」を受けて、職員と地域友の会が5つの分散会に分かれて活動交流を行いました。

「無料・低額診療」を知らせる訪問行動に取り組むことや、毎年定期的に事業所・法人と友の会の懇談会を開催して、足並みをそろえた「まちづくり」「健康づくり」に取り組もうという話になりました。



野田会長の挨拶

芥見つどいの家 利用開始

みどりの家デイサービス(芥見1丁目322番地)の敷地にある家屋を改装して、芥見地域の友の会活動の拠点に利用できるよう準備してきました。

洋式トイレと洗面所の設置・台所の改装が終了し、利用をスタートしました。「草木染めサークル」の月1回の例会、生活助け合いボランティア「こころ」の詰め所に利用されています。

また、毎月第2木曜日午後2時から地域健康座談会を開催しますので、お気軽にお越し下さい。

利用予約・問い合わせは、事務局本部(河村・鬼塚)までお問い合わせ下さい。